

障害福祉関係ニュース

(障害福祉制度・施策関連情報)

2021(令和3)年度
5号(通算393号)
(令和3年9月1日発行)

本ニュースは、全社協 高年・障害福祉部に事務局をおく、セルフ協・身障協・厚生協・全救協・障連協の協議員・役員・構成団体、ならびに都道府県・指定都市社協に電子メールにてお送りしています。

[発行] 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル内
TEL:03-3581-6502 FAX:03-3581-2428
E-MAIL: z-shogai@shakyo.or.jp

◆◆◆ 今号の掲載内容 ◆◆◆

- I. 障害福祉制度・施策関連情報
 - 1. 【厚労省】令和4年度予算概算要求の概要を公表 1
 - 2. 【厚労省】社会保障審議会 障害者部会(第116回)が開催される 2
 - 3. 【国税庁】インボイス制度の登録について(10月1日開始) 2
- II. その他の関連情報
 - 1. 【全社協】令和3年度権利擁護・虐待防止セミナーを開催 2
 - 2. 【セルフ協】令和3年度全国社会就労センター総合研究大会(北海道大会)を開催 3
 - 3. 【身障協】第44回全国身体障害者施設協議会研究大会(福岡大会)再延期のお知らせ 5
 - 4. 【全社協】国際交流・支援活動会員のご案内 5
 - 5. 【厚生労働省】共生社会フォーラムの日程変更について 6
 - 6. 【資源エネルギー庁】「災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金」の助成事業を募集 7
 - 7. 【厚労省】令和3年度「『見える』安全活動コンクール」の募集について 8
 - 8. 【地域精神保健福祉機構】「リカバリー全国フォーラム2021」が開催 8

I. 障害福祉制度・施策関連情報

1. 【厚労省】令和4年度予算概算要求の概要を公表

厚生労働省は8月31日に令和4年度「予算概算要求」の概要を公表しました。

令和4年度の厚生労働省障害保健福祉部の所管部分の概算要求額は2兆3,489億円、障害福祉サービス関係費は、1兆8,298億円となっています。

詳細につきましては、下記厚生労働省ホームページをご確認ください。

【厚生労働省HP】 <https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/22syokan/dl/gaiyo-12.pdf>

2. 【厚生省】社会保障審議会 障害者部会（第116回）が開催される

社会保障審議会 障害者部会（部会長：菊池 馨実 早稲田大学法学学術院教授）は、8月30日に第116回部会を開催しました。

部会では、①居住地特例について、②高齢の障害者に対する支援等について論点が提示され、協議が行われました。今後8月～11月にかけて引き続き個別論点についての議論が行われ、11月～12月を目途に報告書のとりまとめがなされる予定です。

当日の資料等につきましては、下記厚生労働省ホームページをご確認ください。

【厚生労働省 HP】 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-hosho_126730.html

3. 【国税庁】インボイス制度の登録について（10月1日開始）

令和5年10月1日より、「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が開始されます。適格請求書（インボイス）とは、売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。適格請求書発行事業者（登録事業者）のみがインボイスを交付することができます。売手である登録事業者は、買手である取引相手（課税事業者）から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません。買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手（売手）である登録事業者から交付を受けたインボイスの保存等が必要となります。

令和5年の開始に先行して、令和3年10月1日より、インボイス制度の登録受付が開始されます。詳細につきましては、下記国税庁ホームページをご確認ください。

【国税庁 HP】 https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice_about.htm

II. その他の関連情報

1. 【全社協】令和3年度権利擁護・虐待防止セミナーを開催

全国社会福祉協議会（全社協）では、標記セミナーを9月29日より動画配信により開催いたします。

今回のテーマは「福祉施設における権利擁護・虐待防止」です。昨今の新型コロナウイルスの影響により、福祉施設では感染防止対策のための利用者の外出自粛や面会制限等により施設内へ外部の目が入りにくい状況が長期化しています。こうした状況において、福祉施設の利用者及び従事する職員等を対象に権利擁護とは何か、また、権利擁護・虐待防止のためにどのような視点が求められるかについて、より一層の理解を深めていただく機会となるよう開催いたします。

詳細につきましては、下記概要をご確認ください。

令和3年度権利擁護・虐待防止セミナーを開催

(1) 配信期間

令和3年9月29日（水）～11月30日（火）

- (2) プログラム (各 30 分程度)
- (分野共通)「福祉現場における権利擁護とは」
同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授 永田 祐 氏
- (高齢者分科会)「高齢者への虐待未然防止に向けた支援者の視点」
認知症介護研究・研修仙台センター 研究部長 吉川 悠貴 氏
- (障害者分科会)「障害者施設における虐待防止と対応」
植草学園大学 副学長 野澤 和弘 氏
- (児童分科会)「子どものアドボカシーを考える—子どもの権利擁護に関するワーキングチームを通して—」
関西学院大学 名誉教授 前橋 信和 氏

(3) 参加費

1名あたり 10,000 円

(4) 申込締切

令和3年9月16日(木)

(5) 申込方法

下記参加お申込み専用サイトをご参照ください。

<https://www.mwt-mice.com/events/kenri210929>

【お問い合わせ先】

全国社会福祉協議会 政策企画部 (担当: 柏田、中隅)

TEL:03-3581-7889 FAX:03-3580-5721

2. 【セルフ協】令和3年度全国社会就労センター総合研究大会(北海道大会)を開催

全国社会就労センター協議会(セルフ協)では、標記研究大会を10月28日よりオンライン(録画配信・ライブ配信併用)で開催いたします。

今年度の総合研究大会は「SELP Vision 2030」が目指す社会就労センターの姿」をテーマとして掲げ、時代や社会の変容を視野に入れ、今年度新たに作成した「SELP Vision 2030」が目指す社会就労センターの役割を考えることを目的に開催します。

詳細につきましては、下記およびセルフ協ホームページ(開催要項を掲載しております)をご確認ください。

令和3年度全国社会就労センター総合研究大会(北海道大会)

(1) 日時

全体会: 令和3年10月28日(木)~11月30日(火)

分科会: ホームページをご確認ください

(2) 開催方法

全体会: オンデマンド配信(録画配信)

分科会: ライブ配信

(3) テーマ

「SELP Vision 2030」が目指す社会就労センターの姿
～地域における社会就労センターの役割を考える～

(4) 参加費

全体会 10,000 円／事業所（全国セルプ協会員） 25,000 円／事業所（非会員）

分科会 5,000 円／名（全国セルプ協会員・非会員共通）

※参加申込と同時に全国セルプ協に加入された場合、会員扱いとします

(5) プログラム

＜全体会（録画配信）＞

・主催者挨拶

・行政説明「障害保健福祉施策の動向について」

厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課

・基調報告「障害者就労支援の現状・課題とセルプ協の対応～2030 年を見据えて～」

全国社会就労センター協議会 会長 阿由葉 寛

・講 義「SDGs と地域共生社会の取り組み」

一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク

理事・事務局長 新田 英理子 氏

・特別講演「地域で生きる、小さな取り組みから大きな成功へ」

十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾 氏

＜分科会（ライブ配信）＞

・分科会Ⅰ 事業種別部会等

① 生保・社会事業部会：11月5日（金）10時～12時

② 雇用事業部会：11月2日（火）14時～16時

③ 就労継続支援事業部会：11月4日（木）10時～12時

④ 就労移行支援事業部会：11月1日（月）10時～12時

⑤ 生産活動・生活介護事業部会：11月5日（金）14時～16時

⑥ ぐらす（グループホーム）検討会：11月1日（月）14時～16時

・分科会Ⅱ 課題別に実施する分科会：10月29日（金）14時～15時10分（①～⑥共通）

① 障害当事者から学ぶ～事業所にアウトプットしよう～

② 地域特性を活かした施設外就労のカタチ

～働く場は施設内だけじゃない 障害者の就労～

③ 多角的経営視点～福祉施設による事業承継の実践～

④ 離職予防！3つのヒント～笑顔でつらさを乗り越えるには～

⑤ 地域における事業所の役割～地域から求められる施設を目指して～

⑥ 失敗学から学ぶ、失敗に負けない支援者への道！

～失敗学の権威である藤田和彦先生から学ぶ創造的支援への思考探求編～

※分科会Ⅱ-⑥は、若手・中堅職員を対象とする分科会です。

また、開催要綱からテーマが変更になっています。

(6) 申込期限

令和3年9月24日（金）

(7) 申込方法

下記ホームページをご参照ください。

【セルフ協 HP】 <https://www.selp.or.jp/selp/training/workshop/148>

【お問い合わせ先】

全国社会就労センター協議会 事務局

TEL : 03 -3581-6502 Email : selp@shakyo.or.jp

3. 【身障協】第44回全国身体障害者施設協議会研究大会（福岡大会）再延期のお知らせ

全国身体障害者施設協議会（身障協）では、標記研究大会を10月7日（木）、8日（金）にヒルトン福岡シーホーク（福岡県福岡市）で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえて、再延期することとなりました。なお、再延期に伴い、開催日程は令和4年9月8日（木）、9日（金）を予定しております。

4. 【全社協】国際交流・支援活動会員のご案内

全国社会福祉協議会（全社協）では、アジアのソーシャルワーカーの育成、アジアの国の福祉活動支援、アジア諸国とのネットワークづくり、海外災害福祉活動支援等を事業内容とする、国際交流・支援活動を実施しております。

また、全社協では、この国際交流・支援活動を資金面・活動面でご支援いただく「国際交流・支援活動会員」を募集しております。会員登録いただいた方の会費は、研修や助成の活動全般に活用させていただいております。アジアへの国際交流・支援活動を進めていくために、多くの社会福祉関係者皆さま方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

詳細については、下記および全社協ホームページをご確認ください。

国際交流・支援活動 会員制度の概要

(1) 会員区分

- ①法人・組織会員：福祉関係の国際交流・支援活動への参加・支援をいただける社会福祉法人や福祉関係の団体・組織
会費：年額5万円（1口）
- ②個人会員：福祉関係の国際交流・支援活動への参加・支援をいただける個人
会費：年額5千円（1口） * 寄付金控除対象
- ③賛助会員：資金面で国際交流・支援活動を支援いただける法人や団体等
会費；年額5万円（1口）

(2) 会費の使途

- ・会費は、国際社会福祉基金への拠金として受け入れます。
- ・アジアの福祉活動を支援する「修了生福祉活動助成事業」等、国際交流・支援事業に活用させていただきます。

(3) 会員への情報提供等

- ・ニュースレター「きぼう」の定期送付(年3回)

- ・修了生福祉活動助成事業報告書の送付（年1回）
- ・日本国内で開催する国際交流プログラムや、海外スタディツアーのご案内
 - *令和3年度はオンライン交流会、国際社協北東アジア会議等をご案内予定
- ・国際交流・支援事業（国際社会福祉基金委員会所管事業）活動報告の送付（年1回）
- ・ニュースレター「きぼう」誌上で会員名の紹介（任意）

(4) 会員登録方法

下記ホームページをご参照ください

【全社協 HP】 <https://www.shakyo.or.jp/bunya/kokusai/member.html>

5. 【厚生労働省】共生社会フォーラムの日程変更について

第4号でご案内しておりました「共生社会フォーラム」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部に日程変更がございましたのでお知らせいたします。

9月に開催を予定しておりました「共生社会フォーラム in 高知」と「共生社会フォーラム in 熊本」は、11月以降に延期いたします。今後、日程が決定次第改めてご案内いたします。

詳細につきましては、下記および厚生労働省、糸賀一雄記念財団（事業受託者）ホームページをご確認ください。

共生社会フォーラム～福祉の思想に学び、実践し、語る人に～

○年間スケジュール

・ 共生社会フォーラム in 高知

令和3年9月8日（水）・9日（木）高知市春野文化ホール（高知県高知市）⇒延期

・ 共生社会フォーラム in 熊本

令和3年9月29日（水）・30日（木）グランメッセ熊本（熊本県益城町）⇒延期

※なお、以下のフォーラムの日程については変更ありません。

・ 共生社会フォーラム in 北海道/帯広

令和3年10月14日（木）・15日（金）とかちプラザ（北海道帯広市）

・ 共生社会フォーラム in 群馬

令和3年11月9日（火）・10日（水）群馬会館（群馬県前橋市）

・ 共生社会フォーラム in 静岡

令和4年1月19日（水）・20日（木）あざれあ（静岡県静岡市）

・ 共生社会フォーラム in 広島

令和4年1月31日（月）・2月1日（火）広島県社会福祉会館（広島県広島市）

・ 全体フォーラム in 滋賀

令和3年12月（期日未定）滋賀大学（滋賀県彦根市）

【お問い合わせ先】

公益財団法人 糸賀一雄記念財団（事業受託者）

TEL : 077-567-1707

【糸賀一雄記念財団（事業受託者）HP】 <http://www.itogazaidan.jp/>

【厚生労働省 HP】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaishahukushi/kyouseishakai/index.html

6. 【資源エネルギー庁】「災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金」の助成事業を募集

経済産業省 資源エネルギー庁では、「災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金」の助成事業を行っています。

本助成事業では、災害時等に電力・ガスの供給が途絶した場合でも施設の機能を維持することが必要な医療・社会福祉施設等において、自家発電設備等を稼働させるための燃料を確保し、災害時における施設機能の継続を確実にするため、石油製品タンクやそれに合わせて設置する発電機等の設置費用の一部の補助を行っています。

詳細につきましては、下記および本事業の事務局である全国石油業共済協同組合連合会ホームページをご覧ください。

「災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金」概要

(1) 補助対象施設

災害等発生時に避難場所まで避難することが困難な者が多数生じる医療施設（災害拠点病院、救命救急センター、周産期母子医療センター、災害拠点精神科病院、へき地医療拠点、病院、へき地診療所、特定機能病院、地域医療支援病院を除く）、老人ホーム等

(2) 補助対象設備・経費

- ・石油製品（揮発油、軽油、灯油、重油）を貯蔵する容器（以下、「石油製品タンク」という。）の購入を伴う設置に要する費用。
- ・設置する石油製品タンクの石油製品により稼働させる発電機と発電機設置に要する費用。（発電機のための設置は対象外）

(3) 募集締切

令和3年9月15日（水）必着

(6) 申請方法

下記ホームページをご参照ください

【全石連 HP】 <http://www.zensekiren.or.jp/06contents01/01/0101/0106/05>

【お問い合わせ先】

全国石油商業組合連合会 高橋

TEL : 03-6550-9244

Email : <mailto:k-takahashi@zensekiren.or.jp>

7. 【厚労省】令和3年度「『見える』安全活動コンクール」の募集について

厚生労働省では、令和3年度「『見える』安全活動コンクール」の募集を行っています。

本コンクールでは、事業場等で実施されている労働災害防止活動の「見える化」の事例を募集し、広く国民から投票を募り、優良事例選考委員会において評価、選考して優良事例を決定することで、事業場等の安全活動の「見える化」への取り組みを活性化することを目的としています。

詳細につきましては、下記および厚生労働省あんぜんプロジェクト特設ページをご覧ください。

令和3年度「『見える』安全活動コンクール」の募集概要

(1) 「見える」安全活動とは

職場における危険性、有害性の中には、通常視覚的に捉えられないものがあります。それらを可視化（見える化）すること、また、それを活用することによる効果的な安全活動を「見える」安全活動といいます。

(2) 募集概要

下記9つに関する事例を募集

- I. 転倒災害及び腰痛を防ぐための「見える化」
- II. 高年齢労働者の特性等に配慮した労働災害防止の「見える化」
- III. ナッジを活用した「見える化」
- IV. 外国人労働者、非正規雇用労働者の労働災害を防止するための「見える化」
- V. 熱中症を予防するための「見える化」
- VI. メンタルヘルス不調を予防するための「見える化」
- VII. 化学物質による危険有害性の「見える化」
- VIII. 通勤、仕事中の健康づくりや運動の「見える化」
- IX. その他の危険有害性情報の「見える化」

(3) 募集締切

令和3年9月30日（木）

(4) 応募方法

下記ホームページをご参照ください。

【厚生労働省 あんぜんプロジェクト特設ページ】

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/oubo.html>

【お問い合わせ先】

「見える」安全活動コンクール運営事務局

Email : contact-anzenproject@cs.jp.fujitsu.com

8. 【地域精神保健福祉機構】「リカバリー全国フォーラム 2021」が開催

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構は、オンラインにて「リカバリー全国フォーラム 2021 今こそ考えるピアサポート～人と人が支え合うことの意味～」を開催します。

本フォーラムは、毎年、当事者・家族・精神保健医療福祉関係者・市民などが、立場の違いを超えて全国から集い、活発な議論を行う場として定着して、第13回目となる本フォーラムでは、「人と人が支え合う」ことの意味を問い直し、地域共生社会の実現のため一人ひとりに何ができるのかについて、参加者の皆様と共に考えます。

詳細につきましては、下記および地域精神保健福祉機構ホームページをご覧ください。

「リカバリー全国フォーラム 2021」
今こそ考えるピアサポート ～人と人が支え合うことの意味～

(1) 日時

令和3年10月16日(土)、17日(日)

(2) 開催方法

オンライン開催 (Zoom)

(3) 参加費

一般： ¥7,000 (5,000)

学生： ¥4,000 (3,000)

家族： ¥4,000 (3,000)

当事者： ¥3,000 (2,000)

※カッコ内はコンボ賛助会員割引料金 (今回のお申込と同時に新しく賛助会員のお申込をされた場合は、賛助会員の参加費が適用されます)。

(4) 申込期限

クレジットカード決済の場合： 令和3年10月10日(日)

コンビニ支払いの場合： 令和3年10月9日(土)

FAX申込の場合： 令和3年10月4日(月)

(5) 申込方法

下記ホームページをご参照ください。

【地域精神保健福祉機構 HP】 https://www.comhbo.net/?page_id=29980

【お問い合わせ先】

認定NPO法人コンボ内 リカバリー全国フォーラム事務局

TEL: 047-320-3870 FAX: 047-320-3871 Email: RF@comhbo.net